

2017年
3/1
No.1079

あやせ

主な記事

- ②機構改革を実施
- ③健康だより
- ④まんかながわ
フェスティバル開催
- ⑤援農ボランティア
養成講座受講者募集▶



消しましょう その火その時 その場所で

春の火災予防運動



昨年中に市内で発生した火災は21件で、前年に比べ3件減少しました。
春は、空気が乾燥し、風の強い日が多いことから、火災の発生しやすい季節です。消防本部では、火災の発生を1件でも少なくするため、3月1日～7日の1週間、「消しましょう」その火その時 その場所での火災予防運動を実施します。
期間中、消防機関では事業所への立入検査を実施するほか、婦人防火クラブ員が店舗で啓発活動を行ったり、幼年消防クラブ員が法被姿で通園したりするなど、市民の皆さんに広く火災予防を呼びかけます。
火災予防は、一人一人の日頃の心掛けが大切です。

出掛ける前や就寝前には、火の元を点検するとともに、家の周りには燃えやすいものを置かないよう注意してください。火災のない安全で安心して暮らせるまちづくりへの協力を、お願いします。
図予防課 ☎76・0119。

強風時の火気注意

これからは寒さも峠を越え、火に対する警戒心が緩みがちになります。春特有の強い風が吹くこともあるので、屋外での火気の使用は、十分に注意してください。

放火火災を防止

放火による火災は全国的に多く、本市においても例外ではありません。放火を防ぐには、放火されない・火にあっても被害を大きく

させないことが重要になってきます。地域ぐるみ、町ぐるみで放火防止に取り組みましょう。

「放火火災を防ぐために」

●家の周りや共同住宅などの共有部分には、燃えやすい物を置かないようにしましょう

●ごみは決められた日時に、決められた場所へ出しましょう

●車やオートバイのボディ・カバーは、防災製品を使用しましょう

●外出する時は、隣近所に一声掛けましょう

●いざというときのため、消火器を備えましょう

火災出動訓練

消防団では、同運動期間中の3月5日(日)、大規模災害が発生したことを想定した消火実戦訓練をブラインド方式で実施します。ブラインド方式とは、詳しい訓練内容を団員に知らせずに行うもので、より実践的な訓練をすることができます。参加・出動・消防訓練を実施すること、出動と連携体制の確立、消火技術などの向上を図ります。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

対策1▶逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する

対策2▶寝具、衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する

対策3▶火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する

対策4▶お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

習慣1▶寝たばこを絶対にやめる

習慣2▶ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する

習慣3▶ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

消防団員募集

消防団では、消防団員を随時募集しています。
18歳以上で市内在住の方対象。
図消防総務課 ☎76・2112。

「私たちのまちを、
私たちが守る!!」
消防団に興味がある方、連絡をお待ちしています。



あなたの命を守る 住宅用火災警報器

図予防課 ☎76・0119

設置されていますか？

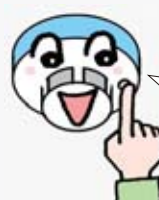
住宅火災で亡くなる方の多くは「逃げ遅れ」です。住宅用火災警報器は火災の煙を早期に感知して、大切な命を守ります。もし、まだ設置していなければ、1日も早い設置をお願いします。設置方法など詳しいことは、問い合わせてください。

日頃から点検を！

住宅用火災警報器は、命を守る大切な機器です。いざというときに正確に作動するよう、日頃から手入れや点検を行いましょう。

作動確認のしかた

正常なら以下のように鳴ります。



ボタンを押しても(ひもを引いても)作動しないときは、次のとおり対応してください。



- ▶電池はきちんとセットされているか確認してください
- ▶それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書を確認し、速やかに電池や機器本体の交換をしてください

※確認方法は機種やメーカーによって異なりますので、取扱説明書などを見てください

